

～技術交流～

エマルジョン燃料の製造方法と
燃焼を確認する

株式会社

住共クリーンセンター 様

〒792-0002

愛媛県新居浜市磯浦町16番5号

TEL 0897-34-6231

FAX 0897-32-7695



山陰興業の実験装置で燃焼実験が行われました。
予想外にきれいな色の炎で燃え、次の実験へ向け
て弾みがつきました。

とてもきれいな色で燃えている！

株式会社住共クリーンセンター藤田様・大西
様を迎え、エマルジョン燃料の製造と燃焼実験
が山陰興業の燃焼炉で行われました。当社で準
備した原料を使い水分含有量30%のエマルジョ
ン燃料を、2種混合装置で製造し、実験炉で燃
焼させました。

藤田様、大西様は期待に満ちた表情で、燃焼
炉の覗き窓から炉内を覗き込んでいました。き
れいなオレンジ色の炎で燃えているではありませんか。「とてもきれいな色で燃えている」と
いう声が上がりました。「全く問題ないね！」
と燃焼する状態をみて感心し、「次は自社焼却
炉での燃焼実験だ」と意欲的でした。

(聞き手長野)



燃焼実験のため来社された、株式会社住共クリー
ンセンター 藤田様と大西様。(写真左より)

エマルジョン燃料とは？

今回のエマルジョン燃料製造・燃焼実験の目的
は、「エマルジョン燃料を知ってもらう」ことで
した。実際に製造装置を動かして、燃料を作っ
てもらい、燃焼させその炎を見てもらうことが
できました。

また、エマルジョンの状態を顕微鏡で観察し、
画像にて説明することで、水と油が混ざるとは
どういうことか理解してもらえました。

共同で研究を行うにあたって、「エマルジョン
燃料」について、お互いの認識レベルが同じ目
線になり、業界のレベルアップの第一歩が踏み
出せたと感じます。(高橋)

過去の地道な研究・技術が生きる

住共クリーンセンター様も非常に積極的で、自
社から、原料を持参してサンプルを作り、持ち帰
りたいという意気込みであった。

高橋社員が製造及び実験炉での燃焼を行い、特
に問題なくエマルジョン燃料ができ、完全燃焼を
見て頂くことができた。

実験後の感想を聞くと、「エマルジョン燃料が完
全燃焼することが分かり、感動した」といわれた。

今まで当社では当たり前だと思っていた技術で
も、多くの企業にとっては貴重な体験となること
が今回わかった。今では製造方法や、燃焼方法も
簡単にわかるが、この技術は10年以上前、河上
部長をリーダーとして私と2人で開発したもので
、当時は研究費が無いなか、河上部長と『地上の
星』(NHKテレビプロジェクトXの主題歌)を聞き
ながら試行錯誤したのが思い出される。

研究というのは地道でなかなか表舞台には出
られないが、良いときでも、やり続けるという
ことが重要で、そのことがいざというときに役
に立つというものなのかと思った。(木村憲)

「励みの会開催」

今期2回目の励みの会が2月9日に開催され
ました。この励みの会は2005年12月に第1回
目を開催して、今回で13回目を迎えました。

「社員が日頃から考えている新しいアイ
ディアを発表し、周りからの意見やアドバ
イスを取り入れて、新たな事業にまで発展
させよう」そして、地域や地域のお客さま
のお役に立つことを目的としています。

今回の励みの会は、今進めているプロジェ
クトや全く新しい視点でのアイディアが発
表され、今までにない活気に溢れた発表会
になりました。

今年の1月1日の日経新聞に「殻を破
れ!」とう特集記事がありました。自分の
殻、会社の殻、常識の殻を打ち破って、新
しい商品やサービスを生みだし、世界で活
躍している方々が紹介されていました。

当社も、社員の皆さんの新しいアイディア
が沸き上がるように生まれ、お客さまに喜
んでいただける商品やサービスへ次々と展
開されることで、今まで以上に社員が自信
と誇りを持ち、やり甲斐を持って働ける会
社になるまで「励みの会」を発展させたい
と考えます。(安原)

「イチロー哲学」を読んで

この本を読んだきっかけは、
イチロー選手が彼の所属してい
る、毎年リーグ最下位のシアトル
マリナーズで、首位打者にな
ったり、10年連続200本安打を達成出来た
のはなぜか知りたいと思ったからです。

これまで私は、それほど大きな目標はな
く、達成しやすい目標を掲げて、仕事に打ち
込んできました。

このたび山陰興業に入社する機会に恵ま
れ、この小さな山陰地方から日本一の商品、
サービス、社員になるというでっかい目標が
出来ました。この目標に向かって、まずは日
頃からイチロー選手のように、こつこつと
ヒットを1本でも多く打ちたいという気持ち
で、目標に向け努力を積み重ねていきます。
そして、大きな目標からでてくるプレッ
シャーをエネルギー源にできるようになりた
いと思います。(安達)



元氣の出る言葉
中村天風師

重要なことを聴くときは、
恋人の言うことを聴くような気持ちで
聴くようにしてごらん

聴く気持ちがないときに、いくらためになる
話を聴いても、どうしても耳に入りません。
重要なことを聴くときは、一生懸命な気持ちで
その人の言うことを聴くことが必要です。
この瞬間というものは、永久に帰ってきません。
日々、その時その時を真剣に生きていかなければ
ならないと思います。(長野)



「イチゴの花」ビニールハウスの中は、ポカポカ
力暖かく春のようです。次から次へと花が咲
き、半年くらいはイチゴの収穫ができます。

社長が薦める今月の一冊

手をつなげば、あたたかい

山元加津子著 サンマーク出版

「かっこちゃん」の愛称で親しまれる特別支援学校の先生が愛を込めて紡ぐ、大切なこと



最初は著者の真意がなかなか読み取れなかったのですが、半ばよりグイグイ引き込まれて、あっという間に読み終えました。

そこで初めて、推薦してくれた人の優しい心根、人間愛を垣間見ることができ、感動しました。

この人は今社長業に挑戦されている。詩情あふれる版面を趣味とし、しかも日曜日にはサッカーに汗を流すという青春まっただ中。まったくもって敬服に値するお一人です。

「優しいことは強いこと 顔かたちを自分の力で選べないように、人の性格もまた、自分の力の及ぶところではないのです。・・・子供たちが教えつつけてくれること、それは自分が自分であることの大切さです。・・・私が私であることが、一番いいことだったから、私は今の私に生まれたんだと思うのです。

P194～195 』

この本を推薦された社長さんが、社員の人たちに、人としての大切な生き方をせつせつと説かれると思うと、皆さんが素晴らしい社員に成長されることは目に見えるようです。(山根)

編集後記

正月早々、うれしいニュースがありました。プロ野球広島で投手として活躍した、大野豊氏が野球殿堂入りしたということです。

大野氏は出雲市出身で、出雲商業高校、出雲市信用組合（現島根中央信用金庫）軟式野球部から、1977年にテストで広島に入団しました。出雲市立第一中学校出身で、私の先輩になります。母子家庭に育ち、大変な努力家であり、また、誠実な人柄からファンも多い。「感謝は忘れたくない」という、謙虚な言葉も人をひきつける。地道な努力が報われて本当によかったと思う。我がふるさと出雲の誇りである。将来は広島カープの監督になって、日本シリーズを制覇して欲しい。

(長野)

「君に成功を贈る」(中村天風)を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。書店での取扱が無い場合、出版局から取り寄せてお届けします。本代は¥1,890です。



今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡しただけでも結構です。正解者の中から抽選で1名にひな祭りのお菓子を差し上げます。クイズの締切は2月末です。奮ってご応募下さい。

Q:昨年11月の「ゆるキャラグランプリ2012」で6位に輝いた、島根県の観光キャラクター「しまねっこ」の好物は何でしょう？



先月号の答は、「64」でした。松江市 伊藤様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

蔵書新着情報

- ・1/4の奇跡 山元加津子 マキノ出版
- ・手をつなげばあたたかい 山元加津子 サンマーク出版
- ・満月がきれいとい僕は言えるぞ 山元加津子・富田俊也 三五館

- ・木を植えた人 (2冊) ジャン・ジオノ こぐま社
- 上記5冊は、環境開発工業(株)山田社長から寄贈。

- ・夢を実現する発想法 山中伸弥、川口淳一郎 致知出版社
- ・できる大人のモノの言い方大全 話題の達人倶楽部 青春出版社
- ・「私はやった、あなたもできる！」 上田研二 WAVE出版
- ・55歳からのハローワーク 村上龍 幻冬舎
- ・幸福の王子 オスカー・ワイルド バジリコ(株)

発行日：毎月10日
発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472
山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野
E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp
印刷：授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします 本誌で紹介した蔵書本等、広く皆様にお貸し致します。営業マンや当編集部へ遠慮無くお申し付け下さいませ。

Proud to Keep Japan Clean
SAN-IN KOGYO

エコス通信・・・お客様と私たちのコミュニケーション誌

ECO'S 通信

2013
2月
Vol.237



山陰興業の燃焼実験装置

オイルリサイクルに熱い視線

社団法人潤滑油協会 事業部長 島崎様、全国オイルリサイクル協同組合 専務理事 池田様が来社されました。このたびの訪問目的は、潤滑油メーカーが販売したオイルが使用後にどのように処理、またはリサイクルされているか、その実態を調査するためです。私たちは、地域から排出される貴重な資源を、より使い易く、より環境に配慮した燃料として有効的に使っていただけるように改良を加え、地域や地域の企業様のお役に立ちたいと考えます。

これを機に潤滑油協会様との関係をもっと深め、私たちの技術レベル向上と業界の発展に繋げていきます。(安原)

このたびは再生重油の製造現場と需要家の利用状況を知る絶好の機会をご提供頂き誠にありがとうございました。

弊協会ではこれまで再生重油の利用状況について具体的情報が乏しかったこともあり、今回の現場見学で生の声を聞くことができましたことは大きな成果でした。

また山陰興業の皆様がリサイクルを通じて需要家が満足する燃料を提供できるよう、常に真摯な態度で臨んでおられる姿に感銘を受けました。

製造現場で見学させていただいたエマルション燃料化は、今後の廃油処理の在り方にヒントを与える可能性があるように感じました。引き続き山陰興業殿のご発展とリサイクル推進に期待いたしております。(社団法人潤滑油協会 事業部長 島崎様)

山陰興業さんの2件のお客様を訪問させていただきました。

1軒目に訪問した先でF審査役様が「A重油を使っていた時よりコストも安くなり、燃焼効率もかえって良くなりました。」と私どもに向かって、笑顔で語られたときは本当に嬉しかったです。そこまで言ってもらえるまでには、御社(山陰興業)ご担当の大変な苦労があったとお聞きしていたので、余計に心動くものがありました。

宿泊先温泉のO部長様も表現は違うのですが御社との関係、思いを共有して熱心に語られる様子からは、本当に御社を大事に思っていたことが伝わってくる話しぶりでした。

その夜はO部長ご自慢の美肌湯にゆっくりつかり、身も心も“ほっかほか”で眠りに就かせていただきました。出雲は人の心と心が触れ合うところですよ。

(オイルリサイクル協同組合 専務理事 池田様)

潤滑油協会への期待

今まで潤滑油協会様とは接する機会がなく、縁遠く感じていました。今回島崎様が来社されたことで、潤滑油協会様が、使用済み潤滑油である再生重油についても調査を始められたことを聞き、これからの展開が楽しみになりました。また今後いろいろな面で協力を仰ぎたいと思います。例えば、
①使用済み潤滑油の問題点である灰分除去・水分除去
②潤滑油の添加剤の動向、潤滑油のトレンド
③潤滑油の基礎知識として

- ・潤滑油の性能試験方法の講習
- ・燃料油の試験方法の講習

今後再生重油は、原料の使用済み潤滑油が少なくなるなかで、どう付加価値をつけるかが、重要となってきます。

再生重油のJIS化もその一環ですが、JISを取得するには、自社を含めた組合各社の相当のレベルアップが不可欠となります。そのために潤滑油協会様の協力を得ていきたいと思っています。(木村憲)



感動人間になろう

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

需要が減少していく。ライバルとの競争が激しくなる。売り上げが思うように上がらない。そんな時代こそ「感動」が必要です。

例えば東京ディズニーランドでの、3.11東北大地震の時のお客さまへの対応を思い出して欲しい。園内で液化化現象が起き、危険と不安を感じている多数のお客さまを、即刻安全な場所に集める。そしてマニュアルを越えた手厚い救済活動をして、お客さまに大きい安心と感動を与えたことは有名です。

その時自分を危機から守ってくれた感動と、そして以前にも園内で大きい喜びや楽しい思い出をつくってもらったからこそ、再び感動を求めてお客さまは何度も通うのです。

私たちもお客さまに感動を差し上げ、お客さまに強く必要とされ、くり返しご注文をいただける会社になりたい。

その実現のためには、まず社員一人ひとりが自身自身に、自分の商品に感動を込める。そしてその熱い思いを他の社員にも発信し、お客さまの夢の実現た

めに、全員が心をつにする。

自分がお客さまの立場であれば、どんな商品が欲しいのか？お客さまが共感していただける商品は何であるか？私たちから買って良かったという高い価値、会社の魅力を考えて、考えてつくるのです。

結果「君のところでなくてはダメだ！」「この商品こそ本物だ！これ以外は使いたくない」とお客さまが感動され指名してもらおう。そのお客さまの感動が私たちの感動になり、私たちの新しいエネルギーになる。

私たちの使命とは、単に安い商品や誰にでもできるサービスをお客さまに提供することではありません。

私たちは、お客さまのお役に立つ仕事をするによって、この地域社会に貢献します。それが私たちに与えられた使命です。その使命を忠実に実行すれば、私たちは永く社会から強く必要とされ、お客さまが必ず私たちを豊かにしていただけます。

私はこう考え、こう実行します

【安原】自分本位ではなく徹底してお客さま本位で考えます。

【松下】お客さまに安心を与える仕事をする。

【河上】問題点に即対応してお客様に感動してもらう。

【岸本】お客さまに感動を与えることのできるサービスを考え提供していきます。

【福岡】一つ一つのサービスや業務を丁寧に説明する。

【福島】より強い信頼関係をもつ。

【木村】再生燃料の品質をさらに向上させ、感動してもらえようになる。

【吾郷】私たちは、お客さまからご指名をいただける会社を目指します。

【大國】健康管理をきちんと行い、周囲の方々に迷惑をかけない。

【木村憲】感動人間になる。

【石橋】お客さまに必要とされる仕事をする。

【榎並】お客さまのお役に立てる事は何かを常に考えて行動します。

【岡田】お客さまに喜んでいただける作業を行います。

【山口】私は色々な経験をし、人が何に感動するかを知ります。

【松本】お客さまのお役に立ち喜んでいただける仕事をします。

【横地】お客さまとの会話に敏感になり、会話の中からお客さまの不都合を感じ取り、少しでも改善できるよう、提案していく。

【植尾】まずお客さまに顔と名前を覚えていただく。

【高橋】私は、お客様の役に立つ商品とは何かを考えます。

【長谷川】お客さまに強く必要とされる社員になります。

【小村】ライバルとは価格差で競争が激しくなっているが、その差を埋められるサービス等を会社全体で考えていく。

【恩村】気持ちの良い電話対応、お客さま対応を心掛けます。

【藤原拓】私は、お客さまに必要とされる社員を目指します。

【藤原大】私はもっとまわりの作業を確認して、作業を行っていきます。

【金森】お客さまに必要とされる社員を目指します。

【安達】お客さまのお役にたてるよう、日々努力する。

【田中】丁寧かつ着実な作業を心掛けたいと思います。

【中村】現場にて、整理・整頓・清潔・清掃・安全(KY)を徹底し、安全作業が出来る様、常にチェックして作業を行います。

【清水】私は、お客さまに指名して頂き、最高の商品が提供できるようになります。

【足立】私はお客さまからのお電話に常に丁寧で心のこもった対応をします。

【長谷川真】常にお客さまの立場に立ち考え実行します。

【長野】お客さまに感動を伝えられるエコス通信を目指します。



お客様から頂いた、寒たんが咲きました。

安全パトロールの実施

1月17日、エネルギーサポート事業部処理部門の安全パトロールを河上部長と行いました。作業内容は、大山町のY社様の汚泥入りドラム缶4缶の引き取りです。作業は、福島シニアマネージャーと石橋社員で行われました。

結果は次の通りです。



車輻に輪止めがしてありませんでした。



パワーゲートに滑り止めテープが貼ってありません。



汚泥入りのドラム缶で、かなりの重量のため、ふたり掛かりです。



福島さんや小村さんに応援してもらい、とても助かっています。身体に負担を掛けず、安全な作業ができるよう、車輻の改善を望みます。
(石橋)

【まとめ】パワーゲートが腐食しており、改修が望まれます。これは、車検時に検討していただきたいと思います。また、作業が軽減されるような装置（クレーン）を客先に応じて使い分けることも必要かと思っています。

今後、各部署のパトロールも行っていく予定です。で、皆様のご協力をお願いします。(河上・長野)

ちょっといい話

業務上の関係がなくなったお客様から久しぶりに連絡をいただきました。「エコス通信を送ってほしい」という内容でした。以前地下タンクをお持ちで、メンテナンスをさせていただいていたお客様でしたが、タンクが廃止になってその施設も解体されたところです。

N様は施設解体後、別の会社に移られ、そこで社員教育に使いたいということでした。「いいことが書いてあるから、従業員に読ませたい」と言ってくださいました。

前の会社では、エコス通信を社員全員で回覧し、回覧後はファイリングまでしていただいていた。弊誌をそこまでしていただいて、編集者は感激やら驚きやら……。

過分な評価をいただいているようですが、大変嬉しいことで、これからも精進していく覚悟です。皆様よろしくお願いします。

(長野)



新入社員紹介

安達さん



趣味：バイクでツーリング
温泉、
音楽鑑賞
(特に長渕剛)

特技：重機の運転
(バックホウ等)

再生燃料として資源をリサイクルしていることに興味を持ち、自分も山陰興業のタンクローリーに乗って役立ちたいと、志望しました。

社員一人一人の仕事に対する取り組み姿勢が素晴らしいと感じます。この縁を大事にして、会社とともに自分も繁栄していきたいと思っています。

お客様に早く名前を覚えていただき、お客様から信頼される社員になります。